「賀川豊彦のお宝発見」その３

新聞記事にみる賀川豊彦（10）

１９１０（明治４３）年～１９６３（昭和３８）年（神戸版）

第 10 回　「普選示威運動」「日本労働劇団」

１９２０（大正９）年２月１５日「労働者新聞」

※此の二つの写真は、英国思想界の権威ベルトランド・ラッセル氏と、日本思想界の明星賀川豊彦氏との写真であります。両氏の思想に頗る共通点が多い様に、両氏の顔のどこやらが似通っているのも亦一奇ではありませんか。

関西労働同盟会主催

大演說會の記

雨中の示威運動

既報の如く去る二月一日關西勞働同盟主催の下に大阪中の島公會堂に於て大演說會を開いた

■示威運動

折惡しく當日は寒氣殊の外嚴しく、其の上雨さへ降つてゐたが示威運動に加はるべき猛者は集合地たる中の島公園へ集まつた。神戸よりも賀川久留氏を初めとして何れも一騎當千の武者が驅け參じたので氣勢は更に上る。鈴木會長が三時に梅田驛に着かれるといふので、一同午後三時といふに出發した。數旒の會旗を先頭に普選の歌を高唱しながら進む有樣は眞に壯絕であつた。

會長を梅田驛に迎へた一行はそれより朝日新聞、每日新聞、關西日報社を歷訪し午後五時に公會堂に入つた。

■演說會

雨は益々降つて來る。寒氣は愈々激しい、然し此の雨、此の寒氣をものともせず入場する聽衆は早や定刻には千名に達した。軈て加藤大阪聯合會主務が起つて開會を宣した。拍手が一頻り湧く。それから大阪聯合會の桑君や西尾君や藤本島といふ雄辯家が得意の熱辯を揮ふ。京都聯合會の三宅君、神戸聯合會の行政君、和田君、橋本君等が登壇して交々治警の撤廢を說き、普選の斷行を絕叫する。かくてプログラムは豫定の如く進行して本會の隱れたる同情者である岸田美郎氏が久し振に熱辯を振はれ極めて明快なる口調を以て「國家の恢復」を力說せらる。續いて本會總務久留弘三氏が「勞働者の政治運動」の題下に勞働者の爲に萬丈の氣焰を擧げ、次[illegible]民主々義の[illegible]の思想を得意の[illegible]を以て說き去る。最後に鈴木會長偉軀を擁[illegible]上に運ぶや、[illegible]を[illegible]よ。烈々たる火の如き會長の熱辯は約一時間半に亘つた聽衆は何れも多大の感動に震へた

関西労働同盟会主催大演説会の記
雨中の示威運動

既報の如く去る二月一日関西労働同盟主催の下に大阪中の島公会堂に於いて大演説会を開いた

■ 示威運動

折悪しく当日は寒気殊の外厳しく、その上雨さへ降っていたが示威運動に加はるべき猛者は集合地たる中の島公園へ集まった。神戸よりも賀川久留氏を初めとして何れも一騎当千の武者が駆け参じたので気勢は更に上る。鈴木会長が三時に梅田駅に着かれるといふので一同午後三時といふに出発した。数旒の会旗を先頭に普選の歌を高唱しながら進む有り様は真に壮絶であった。会長を梅田駅に迎へた一行はそれより朝日新聞、関西日報社を歴訪し午後 5 時に公会堂に入った。

■ 演説会

雨は益々降って来る。寒気は愈々激しい然しこの雨、此の寒気をものともせず入場する聴衆は早や定刻には千名に達した軈て加藤大阪連合会主務が起って開会を宣した。拍手が一頻り湧く。それから大阪連合会の栄君や西尾君や藤本島といふ雄弁家が得意の熱弁を揮ふ。京都連合会の行政君、和田君、橋本君等が登壇して交々治警の撤廃を説き、普選の断行を絶叫する。かくてプログラムは予定の如く進行して本会の隠れたる同情者である岸田美郎氏が久し振りに熱弁を振はれ極めて明快なる口調を以て「国家の恢復」を力説せらる。続いて本会総務久留弘三氏が「労働者の政治運動」の題下に労働者の為に萬丈の気焔を挙げ、次に本会理事長賀川豊彦氏「産業民主々義の確立」と題して最新の思想を得意の雄弁を以て説き去る。最後に鈴木会長偉躯を壇上に運ぶや聴衆熱狂してこれを迎ふ。烈々たる火の如き会長の熱弁は約一時間半に亘った聴衆は何れも多大の感動に震えた。

獅子奮迅の
普選期成關西勞働聯盟
神戸に於ける模範的大示威運動

普選問題が白熱化すると共に關西勞働聯盟の活躍は愈々目醒ましくなつた。

■神戸に於ける示威運動と演説會

二月八日、神戸に於て實に未曾有の模範的大示威運動が行はれた。此の日示威運動に參加したのは殆んど全部友愛會神戸聯合會の會員であつたが、此の外友愛會海員部、友愛會大阪聯合會其他の會員も多數交つてゐた出發に先立つて一同脫帽「君ケ代」を三唱した。一種森嚴の氣分が漲つた。午後一時前進の號令一下するや長蛇の如き一隊は蜿蜒と進行し初めた。先頭には肥馬が五頭。それには石橋、橋本、永田の諸氏が豊かに跨つた。徒歩の先頭は當日の總司令たる賀川、久留、北野の三氏である。小隊は六個に別れ、各小隊に小隊長一名分隊長二名を附し、樂隊を中央に挾み、威武堂々、普選促進の歌を高唱しながら折から降りしきる飛雪を落花と飜つて進む有樣は實に口にも筆にも及び難きものであつた。

かくて新開地を下り相生町より各新聞社を訪ひ、熱誠なる歡迎を受けて三の宮神社を上り、中山手に出で豫定の如く午後三

館に着した。

それより北野勇吉氏司會の下に、久留弘三氏の開會の辭、永田虎二氏の宣言朗讀あり、それより各組合代表の普選斷行の演說あり、最後に賀川豊彦氏「產業民主々義と普通選擧」を說きて盛會裡に閉會を告げた。

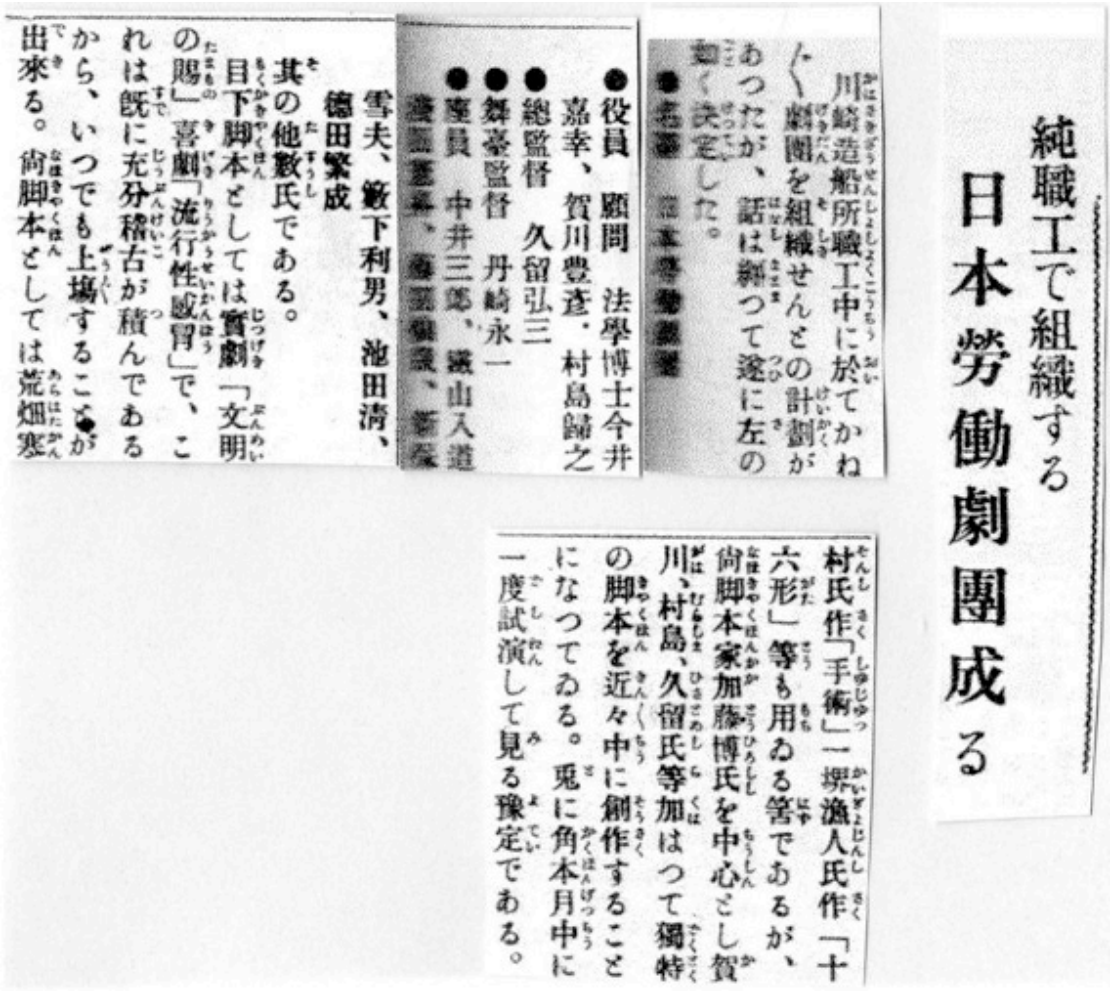
獅子奮迅の普選期成関西労働連盟

神戸に於ける模範的大示威運動

普選問題が白熱化すると共に関西労働連盟の活躍は愈々目醒ましくなった。

■　神戸に於ける示威運動と演説会

二月八日、神戸に於いて実に未曽有の模範的大示威運動が行はれた。此の日示威運動に参加したのは殆ど全部友愛会神戸連合会の会員であったが、此の外友愛会海員部、友愛会大阪連合会其の他の会員も多数交っていた、出発に先立って一同脱帽「君ケ代」を三唱した。一種森厳（しんげん）の気分が漲（みなぎ）った。午後一時前進の号令一下するや長蛇の如き一隊は婉蜒（えんえん）と進行し初めた。先頭には肥馬が五頭。それには石橋、橋本、永田の諸氏が豊かに跨った。徒歩の先頭は当日の総司令たる賀川、久留、北野の三氏である。小隊は六個に別れ、各小隊に小隊長一名分隊長二名を附し、楽隊を中央に鋏み、威武堂々、普選促進の歌を高唱しながら折から降りしきる飛雪を落花と蹴って進む有様は実に口にも筆にも及び難きものであった。かくて新開地を下り相生町より各新聞社を訪（と）ひ、熱誠なる歓迎を受けて三の宮神社を上り、中山手に出で予定の如く午後三時といふに演説会場なる青年会館に着いた。それより北野勇吉氏司会の下に久留弘三氏の開会の辞、永田虎二氏の宣言朗読あり、それより各組合代表の普選断行の演説あり、最後に賀川豊彦氏「産業民主々義と普通選挙」を説きて盛会裡に閉会を告げた。



純職工で組織する
日本労働劇團成る

川崎造船所職工中に於てかねがね劇團を組織せんとの計劃があつたが、話は纏つて遂に左の如く決定した。

●名稱　日本労働劇團

●役員　顧問　法學博士今井嘉幸、賀川豊彦、村島歸之

●總監督　久留弘三

●舞臺監督　丹崎永一

●座員　中井三郎、篠山入道、淺沼？喜、？？？？新栄雪夫、藪下利男、池田清、徳田繁成

其の他數氏である。

目下脚本としては實劇「文明の賜」喜劇「流行性感冒」で、これは既に充分稽古が積んであるから、いつでも上場することが出來る。尚脚本としては荒畑寒村氏作「手術」一堺漁人氏作「十六形」等も用ゐる筈であるが、尚脚本家加藤博氏を中心とし賀川、村島、久留氏等加はつて獨特の脚本を近々中に創作することになつてゐる。兎に角本月中に一度試演して見る豫定である。

（２０１１年３月１９日記す。鳥飼慶陽）

純職工で組織する
日本労働劇団成る

川崎造船所職工中に於いてかねがね劇団を組織せんとの計画があったが、話は纏まって遂に左の如く決定した。

✧　名　　称……日本労働劇団
✧　役　　員……顧問　法学博士今井嘉幸、賀川豊彦、村島帰之
✧　総　監　督……久留弘三
✧　舞　台　監　督……丹崎永一
✧　座　　員……中井三郎、篠山入道、浅沼？喜、？？？？新栄雪夫、藪下利男、池田清、徳田繁成、其の他数名である。

目下脚本としては実劇「文明の賜」喜劇「流行性感冒」でこれは既に充分稽古が積んであるから、いつでも上場することが出来る。尚脚本としては荒畑寒村氏作「手術」一境魚人氏作「十六形」等も用いる筈であるが、尚脚本家加藤博氏を中心とし賀川、村島、久留氏等加はって独特の脚本を近々中に創作することになっている。兎に角本月中に一度試演して見る予定である。